

お知らせ

第40回たには祭を開催します

[開催日]平成29年10月14日(土)、15日(日)

毎年10月に開催しています大学祭「たには祭」が、今年で第40回目を迎えます。この記念すべき第40回目を盛大な大学祭となるよう、現在1・2年生を中心とした実行委員が、授業の空き時間等を利用し、日々準備を進めています。今年のたには祭のテーマは「たにはの中心で愛を叫ぶ」です。ご来場の皆さんが楽しんでいただけるイベント等を企画しておりますので、ぜひお越しください!

柔道整復学科2年 実行委員長 畝奈津子



教育懇談会のお知らせ

8月27日(日)、京都市西京区のホテル京都エミナースにて3、4年生の保護者様を対象に、教育懇談会を実施いたしました。この教育懇談会は、学生本人や保護者様が抱かれる疑問や質問、特に今年度または次年度に控える国家試験対策や就職活動を中心に、担当する教職員が直接ご説明させていただきました。また大学祭「たには祭」の2日目(10月15日)には、1・2年生の保護者様を対象とした教育懇談会を実施いたします。新入生としてご入学された1年生の保護者様は、大学での学修環境や、高校生活とは違った学修への取り組み方法、また2年生の保護者様はより専門的な知識が求められる次年度以降の授業等、様々なご質問にもご対応させていただきますので、ぜひこの機会にご参加ください。



 明治国際医療大学

看護学部[看護学科] * 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] * 鍼灸学部[鍼灸学科] * 大学院[鍼灸学研究科]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より
大学評価基準を
満たしていると認定
されました。

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.15

大学情報誌



保健医療学部 救急救命学科、始動! 「レスキュー・パラメディック」の育成

平成29年4月、保健医療学部救急救命学科が新たに開設されました。待望の1期生は40名でスタートし、即戦力となる救急救命士の育成を目標に、様々な授業を開講します。1年次に行う「ライフセービング実習」、2年次に行う「マウンテンレスキュー実習」や「ウォーターレスキュー実習」は、大学の実習室とは異なる厳しい屋外の環境で、安全確保の方法や救助法、救命処置をどのように実施するかについて学習します。また、3年次からは実際の救急車に同乗する「救急車同乗実習」、附属病院と近隣の救急病院の全面協力のもとに行う「病院実習」、カリフォルニア州ロサンゼルスで最新の救急医療について学ぶ「海外実習」などを行います。

明治国際医療大学の看護総合・統合実習

西洋医学と東洋医学の視点から 感じる看護

看護総合・統合実習は、実習の最終段階として位置づけ、医療チーム内での看護の役割やチームによる看護実践のあり方、および統合医療の要素を看護実践に応用する可能性についても、実習を通して考える機会を持つことを目的としています。今年も7月3日(月)から13日(木)までの9日間で実習を行いました。初日のオリエンテーション後、附属鍼灸センター、附属統合医療センター、はぎの里、総合リハビリテーションセンターを1日ずつローテーションで見学実習を行い、12日(水)には附属統合医療センターセンター長の今西教授に「統合医療について」の講義をしていただきました。その後各グループで学びをまとめ、最終日の発表会を迎えました。各グループとも人間を包括的に見る全人的な医療への認識やその人らしさを尊重した統合医療・看護、看護の役割などについて発表・質疑応答を行ない実習は終了しました。



今西教授より「統合医療について」の講義



附属統合医療センターにおける、鍼灸・アロセラピーの体験学習場面

救急処置実習がスタート

救急救命士の第一歩 ライフセーバーになる

4月から始まった救急処置実習A-1では、心肺蘇生法や止血法、骨折の固定・被覆法など応急手当ての基礎的な範囲を重点的に学習しています。スポーツイベントなどで救護ボランティアとして活動できるだけの知識と技術の修得を目標にし、シミュレーション訓練に励んでいます。また、基礎ゼミでは、消防で行われる規律訓練を実施し、国内外で活躍する著名な医師や救急救命士の講演を聴講しました。7月29日から8月3日(プールの部)、8月6日から8月11日(海の部)に実施されたライフセービング実習では、カリキュラムに「ベーシック サーフ ライフセーバー」の資格取得がめざせるプログラムを取り入れました。実習最終日に行った検定試験の結果、34名が資格を取得することができました。



ライフセーバーの体力練成「ラン・スイム・ラン」の様子



溺者を岸まで搬送する「レスキューボード訓練」の様子



救急救命学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

実践力を備えて、そして、国家試験合格へ

4年生は大学生活の集大成!!

4年生の授業では、卒業後の臨床現場で役立つ実践力をつけるための科目が多くあります。「シミュレーション実習」という科目では、外傷がある患者に施術するために、その患者の状態把握、症状の確認、外傷(骨折、脱臼、捻挫)の処置などを一連の流れの中で診て行う実技授業を行っています。また、国家試験のための補講では、本番で問題数の多い科目を中心に復習を行い、学力の底上げに努めています。学生は放課後も率先して大学に残り、お互いの知識を共有するためのディスカッションや知識の確認作業のための一問一答を行い、頑張っています。泣いても笑っても国家試験まであと7ヶ月。コツコツ積み重ねて最後まで頑張ることを期待しています。



国試対策の合間にリラックスした雰囲気の学生たち



シミュレーション実習風景
患者、術者、助手役を決め、実技を行っています。

柔道整復学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



第1回 はり・きゅうセミナー「あなたに伝えたい、このおもい。」

鍼灸学部では、5月24日に1年生から4年生、さらには大学院生や研修生までが一堂に会するセミナーを開催しました。

テーマ「知ってます? ポルトガルのはり・きゅう」

本学の谷口講師は3年前から、本学と協定を結んでいるポルトガルのスポーツクラブ、Sport Lisboa e Benficaで鍼灸を生かした活動を行なっています。ポルトガルでの貴重な経験を、会場に集まった多くの学生達に熱く語って頂きました。鍼灸の話だけにとどまらず、現地での生活などについてもユーモアを交えながら講演されました。海外で活躍したいという学生やスポーツ鍼灸を志す学生も多く、実際に海外でアスリートに鍼灸治療を実践している谷口先生の話も、真剣に聞き入っていました。



谷口剛志先生

谷口剛志先生のご活躍はFaceBookでも見ることができます。ご興味・ご関心のある方は、「muim benfica project」で検索してみてください。



本セミナーは学部生だけでなく、大学院生、研究生、研修生など、鍼灸学部に関係するすべての方が参加可能です。(もちろん他学部の方も大歓迎です)当日も、会場は活気づいていました。



インラインホッケーの選手の左大腿部前面内の痛みに対して鍼治療を行う様子。治療後、痛みは軽減し、膝も曲げやすくなったそうです。

鍼灸学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



全日本鍼灸学会にて、本学の大学院生が多数発表

全日本鍼灸学会東京大会が開催。参加・発表を通じて、医療者として成長

去る6月10日、11日、東京大学にて全日本鍼灸学会東京大会が開催され、本学の多くの大学院生が研究成果を発表しました。約20演台もの発表があり、いずれも会場を盛り上げ、活発な意見交換が行われていました。東京大会で発表を行った大学院生の荒木憲人さんから、お話を聞くことが出来ました。「今回の学会で、私は胃食道逆流症に対する鍼通電療法の効果について、症例報告をさせていただきました。今回発表を経験して様々なことを学ぶことができました。また、今後の自分の課題についても気づくことができ、大変貴重な経験となりました。この経験を、今後の臨床に反映させていきたいと思います。」大学院生は、学会への参加や発表を通して、鍼灸師やその他の医療職、研究者と交流を深め、人として、医療者として成長していきます。みなさんの努力が結実するよう、教員も力を尽くしたいと思います。



大学院生との集合写真

大学院生 荒木憲人さん

Topics Meiji University of Integrative Medicine

4大学連携「合同就職説明会」開催

平成29年6月25日(日)、鍼灸・柔道整復学科生を対象とした合同就職説明会を開催しました。例年、本学単独で開催している同就職説明会を、関西に所在する鍼灸系4大学(関西医療大学・宝塚医療大学・森ノ宮医療大学・明治国際医療大学)が連携し、より充実したキャリアサポートを図るため、合同で開催する運びとなりました。午前の部では株式会社マイナビによる「実践!ビジネスマナー講座」と題し、今後の職場見学・面接など就職活動で活かせるマナーを学びました。昼食をはさみ、60を超える事業所が一堂に会し、各事業所の説明会が行われました。その後、各大学の卒業生によるOB/OG講演会として、森ノ宮医療大学鍼灸学科長 鍋田智之氏とパネリスト3名によるディスカッションが行われ、学生生活と社会人生活の違いや、現場の生の声が届けられました。一日の締めくくりとして、カフェテリアにて学生の交流会が行われ、一日の緊張感が解れたかのよう、大学間の隔たり無く交流を深めることができました。



事業所の方の話に熱心に耳を傾ける学生たち



ビジネスマナー講座を学ぶ学生たち

明治国際医療大学教育振興会の発足

平成29年度より発足された明治国際医療大学教育振興会の総会が、去る7月27日(日)ホテル京都エミナースで開催されました。教育振興会は、大学教育の振興・充実に寄与し、在学学生の保護者様と教職員の相互、親睦および連携を図ることを目的に、発足しました。総会では、規約の制定、役員の選任、事業計画および収支予算が協議され、初年度方針が定まりました。

初年度に実施される事業内容として、大学祭・クラブ活動に関する課外活動への補助や、学生食堂で100円朝食を提供するための補助などを、大学でより良い学生生活・活動を行えるための支援を実施することとなりました。今後は卒業後のキャリアアップのための資格取得支援や、学修環境の整備など、更に支援を拡充していく予定です。保護者の皆様方には、今後も教育振興会事業に対し、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



総会冒頭に挨拶をする岩井学長



初年度役員に選任された役員の方々

週刊東洋経済「本当に強い大学2017」の教育カトップ50に本学がランクイン

東洋経済新報社が発行している「週刊東洋経済 臨時増刊 本当に強い大学2017」の教育力部門で、対象となった全国539大学中、本学が39位にランクインしました。近畿圏の私立大学では3位で、鍼灸系・柔道整復系の学科を持つ私立大学では全国で本学が唯一ランクインしています。この教育力ランキングは、「教育研究充実度」「科学研究費補助金」「教員1人当たり学生数」の3項目の指標から評価されるものです。

出典：週刊東洋経済臨時増刊「本当に強い大学2017」
東洋経済新報社2017年5月24日発行



ラーニング・commons



2号館入り口

2号館改修工事完了! 実習室・自習室がより良い環境に

昨年度より進めていた2号館耐震・改修工事が2017年3月に無事竣工しました。改修した2号館には、ラーニング・commonsというスペースがあり、学生の学習支援を意図として、情報通信環境を整え、自習やグループ学習が行いやすいよう整備しました。近年、デスクトップPCやノートPCを学修資料をまとめるツールとすると、学生にとって身近なスマートフォンは情報の出入り口とも言えます。私生活で様々な情報を取得し、表現できるスマートフォンですが、学習への利用に対してはまだまだ浸透しているとは言えません。本学のラーニング・commonsではノートPCやスマートフォンの画面を50インチの大型ディスプレイで共有し、グループで議論や主体的に学修整理を行う新しいツールとして期待しています。

強化指定クラブの主な成績 (2017年度前期)

陸上競技

第94回関西学生陸上競技対抗選手権大会

[ハンマー投] 優勝: 若山哲也(柔道整復学科1年)
2位: 小松将弘(鍼灸学科1年)
[やり投] 優勝: 岡田大地(柔道整復学科3年)
3位: 小牧豊和(柔道整復学科3年)

第32回関西医科大学対校陸上競技選手権大会

(男子) 総合優勝 トラック優勝 フィールド優勝
(女子) 総合優勝 トラック優勝 フィールド優勝

秩父宮賜杯第70回西日本学生陸上競技対抗選手権大会

[ハンマー投] 男子6位入賞 若山哲也(柔道整復学科1年)
女子3位入賞 濱口美菜(柔道整復学科3年)

女子サッカー

春季関西学生女子サッカーリーグ2部 優勝

京都FA2017 第13回京都女子サッカー選手権大会
兼第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権京都府大会 優勝

男子・女子柔道

[男子] 平成28年度関西学生柔道優勝大会2部優勝により今年度は1部昇格
[女子] 次頁の特集記事をご確認ください。

男子・女子バレー

[男子]

関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 4部リーグ 6勝2敗
第43回西日本バレーボール大学男子選手権大会 決勝T1回戦敗退

[女子]

関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 5部リーグ 7戦全勝
第43回西日本バレーボール大学女子選手権大会 決勝T1回戦敗退

女子剣道

西日本女子学生剣道大会 ベスト16位(100校中)

春季関西医歯薬学生剣道大会

[女子個人] 優勝: 中蘭美希(看護学科1年生)
2位: 西原好実(同)
[女子団体] 優勝: 明治国際医療大学B
2位: 明治国際医療大学A

第72回国民体育大会(京都府予選会)

[成年女子] 3位: 阿瀬知瑞希(看護学科1年生)

第33回京都府女子剣道大会

優秀選手賞 阿瀬知瑞希(看護学科1年生)

トレーナー部活動報告

アスレティックトレーナー部は将来の目標に向けて、日々のアスリートサポートを通じて、個々が主体的に考え行動する部活動です。僕は昨年12月に入部し、まだ活動を行ってきた期間は短いですが、とても充実した日々を過ごしています。活動日にはストレッチやマッサージの練習、治療する上で必要な知識を勉強するなど、常に現場で動けるためのスキルアップを図っています。また、活動日以外でも自主的に活動する場所を探し、実際にプロの現場に足を運んでみるなど積極的に活動し、経験を積むことができています。僕は母校の野球部に行かせていただいたり、プロ野球の現場に足を運び、実際にトレーナーの方とお話をさせていただくなど、とても貴重な経験をさせていただいています。また、トライアル大会(バイクで岩や崖などの障害物があるコースをいかにミスなく走り抜ける競技)や陸上競技大会へのケアブース参加など、多岐に亘り活動することで、多面的に視野を待ち、それぞれの競技のニーズに対し、対応する能力を養っていると実感しています。普段の大学の授業プラスαでこのような活動ができている事が、今後の自分にとってとても大切なことだと思っています。

柔整学科3年 中村 真大



(左より) 柔整2年中村太一さん、柔整3年中村真大さん、鍼灸2年浅山大輝さん(オリックス2軍キャンプにて)



ストレッチ、マッサージの練習風景

女子柔道部が始動

トップアスリートの育成を目指す本学の強化指定クラブに、平成29年度より新たに女子柔道部が加わり、活動がスタートしました。指導者には、自身も高校・大学・社会人と全国屈指の選手として活躍し、監督としてもジュニア、社会人(実業団)で数々の実績を誇る小川豊清氏が就任。5月開催された第25回関西学生女子柔道優勝大会では、3人制(1部)で初出場、初優勝を創部2か月で成し遂げることができました。また、6月に日本武道館で開催された第26回全日本学生柔道優勝大会では、優勝した早稲田大学に敗退したものの、創部初年度でベスト8という優秀な成績を収めることができました。今年度の新入部員は3名ですが、チーム丸となり目標である日本一を目指し、日々の稽古に精進してまいりますので、応援の程よろしくお願いたします。

顧問 岡本 武昌
監督 小川 豊清(出身校:天理大学)
部長 吉田 勲生(出身校:天理大学)
主将 刈谷 美咲(看護学科1年)
河野 志歩(鍼灸学科1年)
三苫 桃子(鍼灸学科1年)



関西学生柔道優勝大会



全日本学生柔道優勝大会

学生インタビュー

スポーツ振興プロジェクトによる強化指定クラブで活躍する学生さんの紹介第2弾として、今春発足した女子柔道部員の3人をご紹介します。

入学され前期を過ごされた3人へこれまでの大学生活のことや、今後の目標などを伺いました。

刈谷 入学したばかりの時は、不安だらけでした。やっていけるかな?って思ったり、でも頑張ろうって思ったり。色々思ってるうちに前期が終わってみて、今は楽しく過ごしています。部活の先輩はいい人ばかりで、友達も一緒にいてほんとに楽しいです。看護の勉強をしながら柔道をするは大変だろうと思いますが、大変だからこと余計に達成してやろうと思います。自分たちの活躍をみて、この大学に来たいと思ってくれる人が少しでもいたらいいと思います。

河野 下宿をしているので、母のご飯が恋しいです。大学の授業は思いの外難しく、ついて行くのが必至ですが、やり甲斐のある勉強だと思っています。高校生の時に自分が思っていた柔道をやり切れなかったのが、大学でやりたい柔道をやり切り、最後に笑って終われるようにする!この大学で学べることを全て吸収し、卒業後には胸を張って、怪我のケアだけでなく心身ともにケアができる鍼灸師になりたいです。

三苫 この大学へ進学した理由が、小川先生の下で柔道をしたかったので、先生にご指導をいただき、好成绩を残し、国家試験を一発で合格したいです。まずは、目前に控える関西学生柔道体重別選手権

大会の個人戦で優勝して、全日本学生に出場し、頑張りたいと思います。卒業後は、ケガに苦しむアスリートをこの大学で学ぶ鍼灸治療でサポートしたいと思っています。両親にも治療してあげたいです!

刈谷 それぞれ4年後の国家試験合格の目標を見据えながら、柔道と勉強を両立し、先ずこの1年は3人で協力していこうと思っています。今は周りの人に支えてもらって、協力してもらっているからこそ頑張っていけると思います。日々、感謝の気持ちを忘れず、周りの人たちを大切に思い、色んな人に喜んでもらえるように、頑張っていきたいです。



(左より) 河野志歩さん、刈谷美咲さん、三苫桃子さん